

様々な角度から、厚生労働省に携わる～インタビュー～



そえじま かずま
副島 一真

外務省
在大韓民国日本国大使館
経済部 二等書記官

異なる文化や価値観に対しても深い関心を持ち、 両国の架け橋に

2023年の春から、韓国・ソウルにある日本大使館で、外交官として勤務しています。厚生労働省からの出向者は私だけなので、本省でこれまで担当してきた職業安定分野や人材開発分野のみならず、新型コロナウイルス、医療提供体制、食品輸出入、少子高齢化・人口減少への対応等、厚生労働行政全般にかかわる問題について担当しています。

現在の業務は、例えば、韓国の厚生労働行政に関する政策等の調査があります。厚生労働省から「〇〇についての制度改正を検討しているのだけど、韓国ではどうなっているの？」と調査依頼が来ることもあれば、そうでなくても、「きっとこれは厚生労働省にとって有益な情報だ！」という情報を入手すれば、自分起点で厚生労働省に報告することもあります。情報収集について

では、報道などの公開情報から入手することもあるが、自分でアプ取りをして実際に有識者に会いに行くこともあります。

隣国関係にある日本と韓国は、少子高齢化・人口減少をはじめとした多くの共通の課題を抱えていますが、これらの課題の細部には、文化や価値観の違いから生じる差異もたくさんあります。先入観を取り除き、異なる文化や価値観に対しても深い関心を持って誠実に接し、分析をする。こういった「人間科学職の強み」を存分に生かしながら仕事をしています。



なかむら しほ
中村 詩帆

ILO国際研修センター
プログラムオフィサー

トリノから世界へ、 最新の労働政策を学ぶ場を提供するために

ILO国際研修センターはイタリアのトリノにキャンパスがあり、世界各国の政府機関や使用者団体、労働者団体の職員等を対象に、労働問題や労働政策に関する研修の企画や実施を行っています。

私が主に担当しているのは、公共雇用サービス（日本でいうハローワーク）や若年者雇用、労働市場におけるデジタル化・AIへの対応などの雇用政策に関する研修の企画・実施です。具体的には、研修の内容や構成について専門家と議論し、研修教材の準備や参加者受入れのための手続きを行います。講義内容に加え、グループワークや参加者の知見が共有できる場づくりといった、積極的に学べる研修のあり方についても工夫しながら進めています。

業務を通じて、世界で今まさに注目されている労働問題の最新情報に触れることができるのはとても刺激的ですし、様々な国の意見を聞くことで各国の抱える課題や取組の多様さを理解することができ、自分自身も学ぶことが多いです。他国と比較した日本独自の取組や日本の政策の強みについても考える機会が増えました。

休日は、市場で地元の旬の食材を探したり、友人と美味しいご飯を食べに出かけたり、イタリア発祥のオペラや絵画鑑賞を楽しんだりしています。また、職場にテニスコートがあり、週に一度、同僚とテニスをするのもリフレッシュになっています。



ますだ やすみ
増田 保美

独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター研究部門
主任研究員

障害者雇用政策に通じる研究の 的確な実施に努める

厚生労働省所管の独立行政法人である高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センターで、障害者雇用に関する研究に携わっています。現在、厚生労働省からの依頼を受け、障害者手帳を所持していない精神障害者や発達障害者の就労実態等を把握するための調査研究を担当しています。調査に当たっては、大学教授などの有識者のほか、ハローワーク、地域障害者職業センターなど障害者の就労を支援している様々な支援機関へヒアリングを行い、課題を整理しながらアンケート調査の作成を進めています。今後、アンケート調査の実施、結果の分析、アンケートで把握しきれない有用な情報を得るための関係者へのインタビューなどを行い、研究報告書をまとめていく予定です。こうした研究の成果は、厚生労働省が障害者雇用政策を

検討していく際の基礎資料となります。対象者のニーズや困っていること、政策検討に必要な情報を的確に把握する調査とするため、部門内外で議論をしながら進めています。今後の政策に影響する可能性のある研究であり、やりがいと責任を感じています。

まとまった休みを利用して、家族で旅行することが最近の楽しみです。昨年は「こなきじい」の古里に行き、妖怪を感じてきました。今後いろいろな場所を旅したいと思います。



ねもと ともゆき
根本 友之

独立行政法人
労働政策研究・研修機構
労働大学 准教授

労働行政の現場を支える人材の育成

労働大学は、全国のハローワーク、労働基準監督署、労働局などの労働行政にたずさわる職員の中央研修を担っています。

年間90コース程度の研修があり、教授・准教授はそれぞれ担当する研修の企画・実施を行っています。コロナ禍を経て、それまでの集合研修から、オンライン研修やオンラインと集合の併用型で実施される研修も多くなっています。

私は、ハローワークの職業相談を担当する職員向けの3種類9コースの研修を担当しています。労働大学は、独立行政法人として、厚生労働本省からの要請に基づいて、中央研修を実施しています。最近の動きとしては、政府全体の方針としてハローワークのコンサルティング機能の強化が求められている中で、職業相談を担当する職員向けの研修についても、実施回数・定員

の増加やより実践的なキャリアコンサルティングの知識・技能を扱うカリキュラムの拡充を行っています。

研修の中では自ら講義を担当する科目、本省・労働局や外部の講師に講義をお願いする科目の両方がありますが、研修の運営においては、研修生に分かりやすく伝えられるよう、また、目的意識を持って受講してもらえるよう心がけています。研修生の研修を受講して良かった、業務へのモチベーションが高まったなどの声を聞けることが励みになります。

